

とんだばやし認定調査通信 19号

特記事項 どう書く？どう読む？

2-5. 排尿(介助の方法) 自分でトイレに行っている方

- トイレの回数(昼夜)や失禁の頻度は記載していますか？
- 失禁後の片づけは、どうしているのか記載していますか？

× 判断に迷う例

【特記事項】

自分でトイレに行っている。

失禁もたまにある。

【選択】 介助されていない

状況が
つかみにくいよ



◎ わかりやすい例

【特記事項】

日中4～5回、夜間1～2回程度、自分で介助なくトイレに行き、一連の行為も行っている。しかし、週に1回程度移動に時間がかかり間に合わず、下着を濡らしてしまうことがある。その際の下着の交換は娘が手伝ってくれる。

【選択】 介助されていない

4-1. 被害的(有無)

4群のBPSD関連の項目は、具体的な介護の手間と頻度の記載が重要です。

× 判断に迷う例

【特記事項】

娘がお金と盗ったという。

【選択】 ある

手間と頻度の記載が
不足しているよ



◎ わかりやすい例

【特記事項】

週に3～4回程度、娘がお金を盗ったと夫に言う。その度に夫は話を聞き、落ち着かせるのに10分程度時間がかかる。

【選択】 ある

今回のポイント



今回の例は、2つともチェックとしては同じですが、特記事項でイメージが随分変わっています。特記事項はチェックに反映されない介護の手間を認定審査会に伝える重要なものです。具体的かつわかりやすい調査票の作成をお願いいたします。

伝わりやすい特記事項の記入にご協力をお願いいたします。
市町村によって解釈に違いがある場合もありますので、ご留意ください。
富田林市高齢介護課 ☎ 0721-25-1000（内線178）

